



通信

第 10 号 2011 年 1 月 13 日

一般社団法人 福島原発行動隊

〒114-0023 東京都北区滝野川 7-7-7

サークル伊藤ビル 302 SVCF 内

電話：03-5980-8535

FAX：03-5980-8536

svcf-admin@svcf.jp <http://svcf.jp>

■第 13 回院内集会を開催します

来る 1 月 19 日（木）に第 13 回院内集会を開催します。今回の院内集会は本年最初の集会であると同時に、政府による福島第一原発事故の「収束宣言」後初めての集会となります。

■収支報告

福島原発行動隊の収支をご報告いたします。行動隊のこれまでの活動はすべて皆さまからのご寄附によって支えられてきました。寄附総額は実に 1,300 万円を超えています。他方、家賃、旅費・交通費、事務所経費などで、収入の約半分にあたる 600 万円の支出がありました。行動隊が活動を継続していくためには引き続き皆さまからの経済的支援が不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

正味財産計算書

平成 23 年 7 月 7 日から平成 23 年 12 月 31 日

（単位：円）

科目	金額
I 一般正味財産	
1. 経常収益	
受取寄附	12,176,619
受取会費	65,000
雑収入	5,241
経常収益計	12,246,860
2. 経常費用	
役員報酬	200,000
広告宣伝費	122,095
会議費	80,851
旅費・交通費	1,045,021
出張旅費	1,126,872
通信費	466,509
事務用品・修繕費	653,132
諸会費その他	1,181,864
経常費用計	4,876,344
一般正味財産期末残高	7,370,516
II 指定正味財産	0
III 正味財産期末残高	7,370,516

貸借対照表
平成 23 年 12 月 31 日現在 （単位：円）

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金	96,388
預金	6,094,259
流動資産合計	6,190,647
2. 固定資産	
その他の固定資産	1,179,869
資産合計	
II 負債の部	0
III 正味財産の部	
負債及び正味財産合計	7,370,516

■山田理事長が「ニュースの断層」に出演します

CS のテレビ放送局「朝日ニュースター」での 1 時間の生放送番組「ニュースの深層」に山田理事長が出演します。放送予定は以下の通りです。

番組名：「ニュースの深層」（生番組）

放送日：1 月 17 日（火） 20 時から 21 時

■行政・法令等ウォッチャーチームの会議を開催しました

昨年 12 月に設置された「行政・法令等ウォッチャーチーム」の第 3 回目の会議が 1 月 12 日（木）に開かれました。

今回の会議で中心的に議論されたのは、本年 1 月 1 日に施行されたいわゆる「除染電離則」およびガイドラインです。この省令とガイドラインは今後のモニタリング・除染活動にとって基本的な指針となるものです。この「除染電離則」とガイドラインについては次回の院内集会でチームから詳細に説明をする予定です。

■モニタリング研修会開催に向けて（神奈川）

1月7日（土）、横浜市の「なか区活動センター」で、神奈川グループが主催する「第一回モニタリング要員育成研修会」準備会が開かれ、10名が参加しました。

準備会では、研修会の目的は行動隊モニタリングチームの拡大にあることが確認され、研修対象者は行動隊の隊員と賛同者に絞ることが決められました。ただし、今回は神奈川の企業から参加要請があることが報告され、それを了承しました。

研修会は講義と実習に分けて行うこととし、講師には、モニタリングチームの責任者である塩谷亘弘副理事長と、Jビレッジでの東電による研修の受講者3名にお願いすることになりました。

研修会の要領は以下の通りです。

日時：1月22日（日）13:00から

会場：なか区活動センター

目的：除染特別措置法・除染電離則並びに民間からの要請に対応できるモニタリング活動要員の育成

参加者：先着順25人で締め切ります。

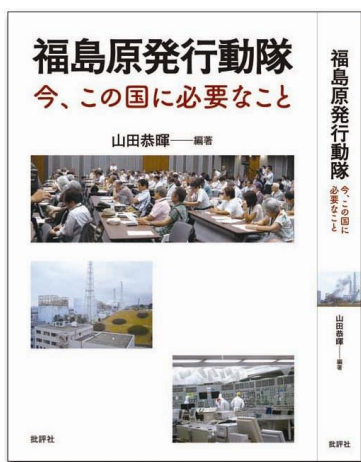
申込先：E-mail: nora@cityfujisawa.ne.jp

Fax：0466-47-2130

■書籍発売のご案内

『福島原発行動隊～今、この国に必要なこと』（批評社 1600円＋税）

このたび福島原発行動隊についての書籍が批評社より発行されることになりました。発売は2012年1月25日です。行動隊員および賛助会員50人からの、行動隊に寄せる期待、気持ちなどのメッセージのほか、宗教学者の山折哲雄氏、作家の高橋三千綱氏、参議院議員の牧山ひろえ氏の寄稿、さらには行動隊の山田恭暉理事長のインタビューなども掲載されています。全国の書店で購入することができます。



■山田理事長が福島で講演します

—『第3回東北復興シンポジウム「フクシマ」とともに』—

このたび刊行した『福島原発行動隊—今、この国に必要なこと』にご寄稿いただいた宗教学者の山折哲雄氏のお誘いを受け、3月3日に福島県立博物館で開催されるシンポジウム『第3回東北復興シンポジウム「フクシマ」とともに』に山田恭暉理事長の参加が決まりました。

3.11 東日本大震災を機に、東北はもとより日本の復興のため、地球と世界の動向を見極めて変革の道を目指そうと、国際的なネットワーク

を立ち上げて活動を開始したNPO法人「アスクネイチャー・ジャパン」と福島県立博物館が共催するこのシンポジウムは、東北復興の支援を目指して“海やまのあいだに生きる”をテーマに企画されたもので、昨年12月の岩手県遠野市、今年1月の宮城県仙台市に続いての第3弾イベントです。

山田理事長は、山折哲雄氏の基調講演に続いて、「福島原発行動隊の道」と題した講演を行うほか、その後のパネルディスカッションにも登壇し、福島原発行動隊の主張を述べる予定です。なお、このパネルディスカッションには、山折哲雄氏と山田理事長の他、川勝平太氏（静岡県知事）、安田喜憲氏（国際日本文化研究センター教授）、コーディネーターとして赤坂憲雄氏（福島県立博物館館長）が参加します。

日時：3月3日（土）13:00-16:00

会場：福島県立博物館（福島県会津若松市城東町1-25 JR会津若松駅より3km）

参加費：無料（ただし事前申込み予約が必要、定員200名）

※お申込みは、以下に①お名前、②ご所属、③電話番号をご連絡ください。

福島県立博物館：Tel: 0242-28-6000

Fax: 0242-28-5986

